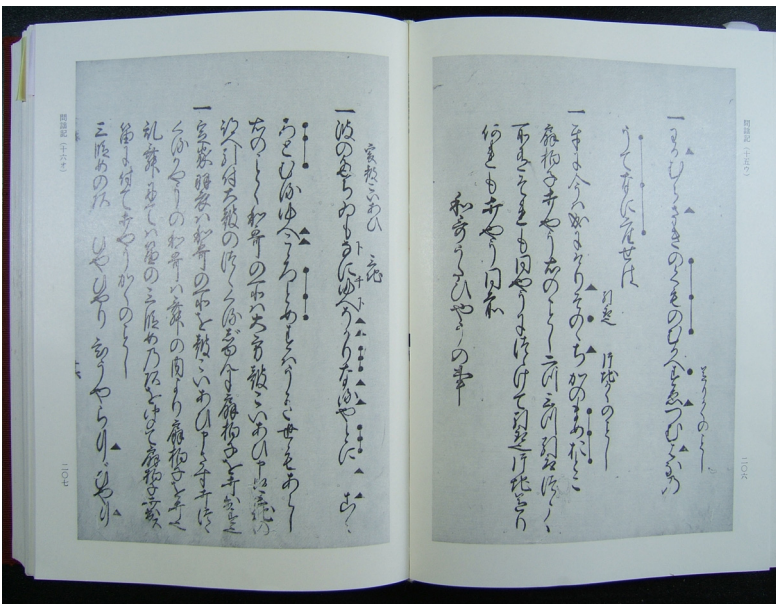
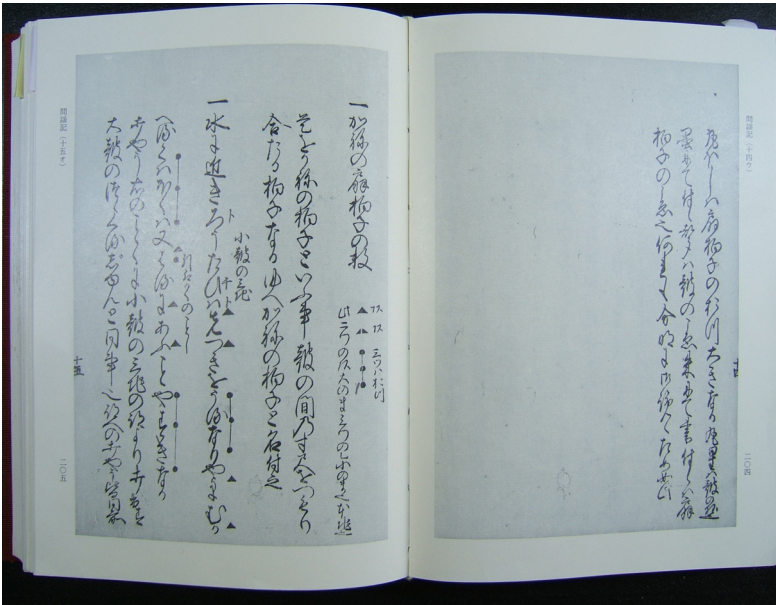


小山仁左衛門 『問謡記』

「かねの扇拍子」として、13567拍を打つパターンを提示、小鼓の「三地」をトチトの仮名で示し、それらの指示をテキストの横に並記するかたちで、拍子当りと鼓の粒についての図示を行う。地謡の歌い手が、歌い出しを間違えないようにするため、個別のケースを図示している点で、実地的な書物。



標題 内題…

標題紙…

奥附…

その他…問謡記(表紙・奥題)、問謡記

(合綴された『秘伝之拔書』の巻末)

著者 奥附…

その他の場所…小山仁左衛門(巻末)、小

山仁左衛門(合綴された『秘伝

之拔書』の巻末)

出版 版次…

出版地…京都

出版社…定通(開板)

出版年…

その他の場所…巻末 承応2(1653)

形態 冊数… 頁数… 寸法…

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

(影印本)

備考 竹本幹夫編『能楽資料集二』(平成六年、

早稲田大学出版部)一七一〜二四七頁に

影印。元和三(一六一七)年小山仁左衛

門編(巻末)。元和五(一六一九)年小山

仁左衛門(合綴された『秘伝之拔書』の

巻末)。